

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立鏡山小学校

令和6年9月13日
京都市立鏡山小学校
校長 東 智子
(TEL 581-2183)
(FAX 581-2184)

4月18日に、全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校6年生の結果がまとまりました。本調査は、国語科・算数科の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。教科の結果及び生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語科・算数科）

国語科は、京都府平均と同じ、また全国平均を上回りました。算数科は、京都府平均を下回りましたが、全国平均を上回りました。総合的には、基本的な学力は身についてきていると言えます。無解答率が一定数ありますが、京都府や全国と比べて少なく、あきらめずに粘り強く取り組む姿勢がついてきていると言えます。

国語科より

どの観点においても全国平均を超えており、概ねできていました。特に、読むことの分野では、京都府平均と全国平均を超え、これまでの学習の成果が出ていました。

言葉の特徴や使い方・話し方の工夫に関する問題については、課題が見られました。

今後

- ・漢字を学習する時には、辞典を使ったりクラスでその漢字を使う言葉を交流したりすることで語彙力の強化につなげる。
- ・話している人の表現の中でどんな工夫があったのか聞き取ることに課題が見られた。資料を活用した工夫や理由を明らかにした工夫など授業の中でも、どんな工夫をしているのか具体的に言語化してまとめていくことを大切にする。

算数科より

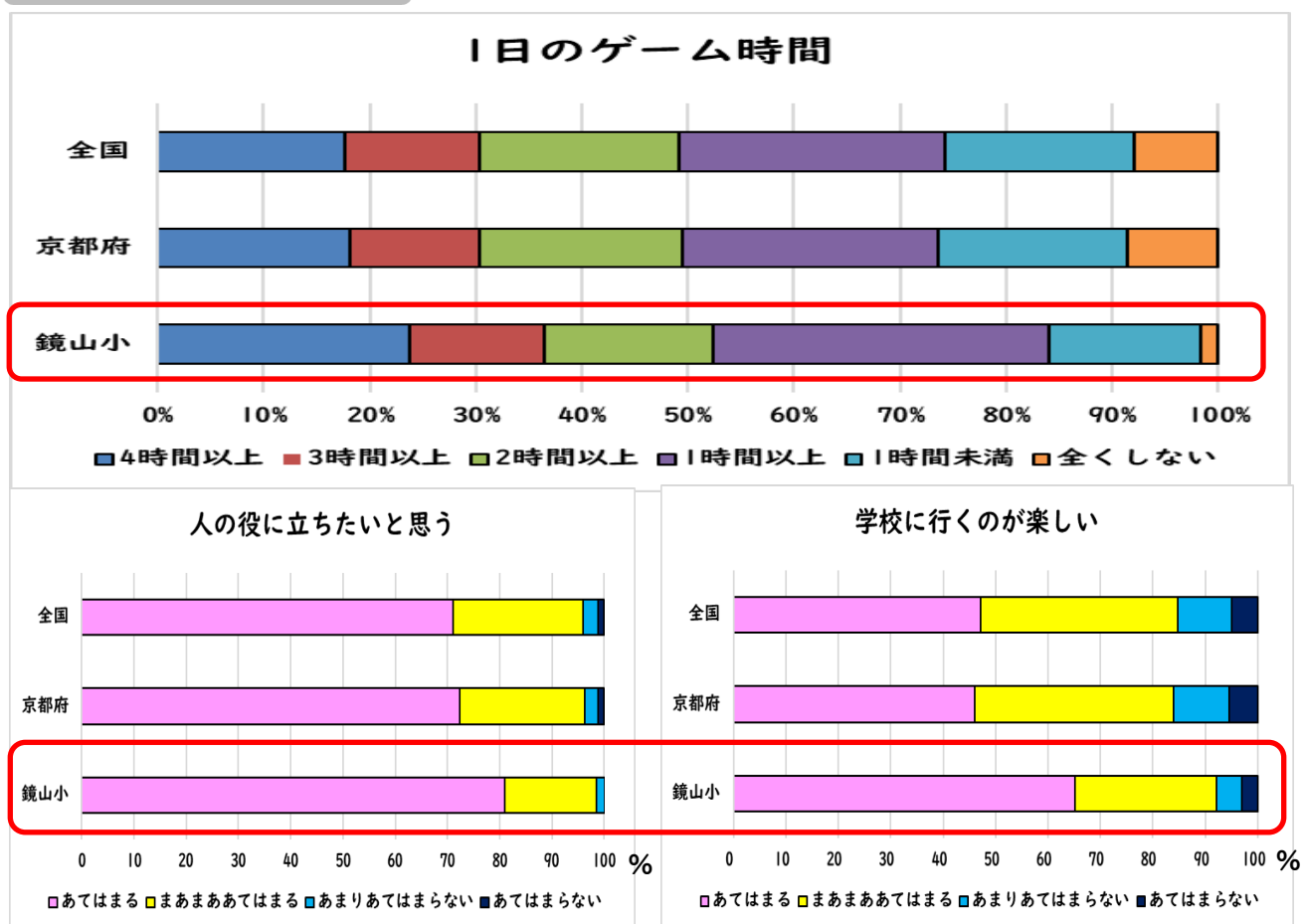
図形の分野では、全国平均や京都府平均よりも高く、子どもたちのがんばりやこれまでの授業改善の成果が表れていました。

「データの活用」の領域には課題が見られました。特に、円グラフや折れ線グラフから読み取る問題に課題が見られました。

今後

- ・単にグラフの数値を読み取るだけでなく、自分でグラフを作成したり必要な数値はどこにあるのかを読み取ったりすることでデータの処理ができるよう取り組む。
- ・共通点や変化をとらえるなど条件に応じた記述ができるようなまとめを大切にする。

児童質問紙調査から



保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査には国語・算数のテストと合わせて児童質問があります。その中から上記3つに絞ってお伝えします。

1つ目のグラフから本校児童はゲーム時間が多いことが分かります。他の質問からゲームだけでなく動画視聴の時間も多かったです。2時間以上の児童が半数を超えていました。ゲームや動画視聴が多くなると、睡眠などの生活リズムにも大きく影響します。ご家庭でも、一度放課後や夜の時間の使い方を話し合ってほしいと思います。

2つ目3つ目のグラフでは、90%を超える児童が「人の役に立ちたい」「学校が楽しい」と回答していました。とてもうれしく思います。学校でも高学年として他学年の児童を気にかけて助けてくれている姿をよく目にします。ご家庭や地域の中でも、人の役に立ってうれしかった経験から、さらに「人の役に立ちたい」という思いを強くしたと思います。また、今後も様々な教育活動の中で「学校が楽しい」を増やせるよう取り組んでいきたいと思っています。

今回の調査結果を受け、鏡山の子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりを目指し、学校でも一層授業改善に努めます。ご家庭でも規則正しい生活や家庭学習の習慣化を意識しながら、子どもたちに積極的に関わっていただきますようお願いいたします。